

9月17日のウライナ情報

安齋育郎

●フジテレビ社員150名退社『これ以上毎日嘘を垂れ流すことを拒否』(再確認、2022年4月22日)

<https://cinniyan.exblog.jp/29163795/>



大手メディアの偏った報道、偽情報など、昔からあったとは言え、ロシア、ウクライナ報道が始まって顕著になり、私たちでさえ、何かおかしい?と、ネットなどを検索できる人々にとっては、大きな世界的な問題だ。

ここに来て、フジテレビの職員が、150名も退職したというのだが、その理由と実際に起こした行動がすごい。

勇気あるテロップ!

退職は、以前から退職者を募っていたという。

ここに来て、先日のフジテレビのウクライナに関するニュースで最後にテロップで、

『ウクライナ人の敵はウクライナ軍』

というテロップが流れたという。

その後で、一斉に150名が退職したというのだ。



ウクライナの東部は、もう8年も前からナチスのアゾフ大隊と親ロシア派の間でずっと内戦が続いていて、ネオナチやネオナチが入り込んだウクライナ軍によって、14000名の親ロシア派の人々が亡くなった話は知っていた。

けれど、テレビの報道ではそういうことは伝えずに、それをみんなロシア軍の仕業だとすり替えて報道。

こういう誤った報道を、新聞やテレビしか見ない人々は鵜呑みにしてしまう。

ロシア軍がキエフを包囲しているのも、キエフをネオナチのウクライナ軍から守るため、映像で流されているのは映画のワンシーンもあったし、フェイクで役者が妊婦を装ったり、それは酷いフェイク動画ばかり。

それを知りながら、報道を続けることにこのフジテレビの社員達は最後の抵抗で、このコメントを流したようだ。

全く、何を信じていいのか、情報さえも不確かになり、人の信頼も失われてしまう。

このニュースも、テレビのニュースで取り上げられたものは見ていない。

日本の行方もかなり危険だ。何も出来ない庶民っていかに弱いか痛感！

●4割が外国人傭兵(2022年9月15日)

重要な指摘。ハリコフ州でのウクライナ軍作戦に動員された兵力の 4 割が外国人傭兵。既にウクライナ国内の戦闘は作戦立案から指揮までアメリカ、NATO 軍が執っている。アメリカ、NATO 軍にウクライナ兵が配置されているというのが実態。

アントノフ駐米ロシア大使:ウクライナ戦線におけるいくつかの成功は、ウクライナ軍による反攻の展開に米国防総省が直接参加したためだ。将軍を含む米国政権の公然たる誇示は、深く憂慮すべきものである。米国は紛争の当事者ではないというワシントンの主張は、全く馬鹿げており、根拠がないように聞こえる。



ハリコフ州政府代表「ハリコフを離れられない市民が危険にさらされている」と言っている。「ハリコフを離れられない人々が危険にさらされています。ウクライナ民族主義者たちは全住民を絶滅させ、彼らは裏切り者であると言うでしょう。現在ハリコフではウクライナ軍と外国人傭兵による民間人の殺害と略奪が横行している」

※安齋注:「ハリコフの戦いでウクライナが大戦果」というのは、4割がアメリカ・NATO 軍という、従来のウクライナ軍と明らかに戦力構成が異なる混成軍が欧米供与の武器を使って戦ったため、ロシア軍がそれまでとは勝手が違って撤退し、対応を組み立て直しているということのようですね。

●6歳の孫の命を救った女性(2022年9月10日)

<https://youtu.be/sl1vJo9bi9I>



●ウクライナ軍は、戦闘を拒否した自分の兵士の足を撃った(2022年9月14日)

LNR(ルハンスク人民共和国)軍は、その兵士に応急手当をした。兵士は家族に「生きている。みんなを愛している」と伝言した。

<https://twitter.com/VestnikBure/status/1570009258862968832?s=20&t=y1TJ6g QcUpchXo-ngVDFg>



●ルカシェンコ大統領はヨーロッパにお手伝い中(2022年9月14日)

プーチン大統領ともどもエリザベス女王の国葬に招待されなかったベラルーシのアレクサンドル・ルカシェンコ大統領。薪割の手伝い中だが、結構二人ともくたびれている様子が可笑しい。

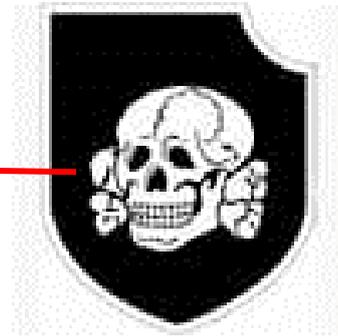
「お互いに助け合うことが必要だ」

<https://twitter.com/VestnikBure/status/1570013719870210053?s=20&t=y1TJ6g QcUpchXo-ngVDFg>



●ゼレンスキーだいつりょう、イジューム訪問の様子を公開(2022年9月15日)

ナチスドイツ親衛隊のトーテンコップマークも板についてきました。隠す気がないようです。SSに守られてイジューム訪問をアピールするゼレンスキー大統領。



<https://twitter.com/Jano661/status/1570255216368549888?s=20&t=y1TJ6gQcUpchXo-ngVDFg>

●西側諸国の経済制裁は効いていない…ロシアがエネルギー輸出で戦費以上の収入を稼ぎ出せるワケ(PRESIDENT online, 2022年9月10日)

ロシアから原油を大量に買い付けるインドの本音

5月24日、東京で日米豪印で構成する「クアッド」の首脳会合が行われました。日本政府の説明によれば、日米豪印は、基本的価値を共有し、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の強化にコミット。「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向け、ワクチン、インフラ、気候変動、重要・新興技術などの幅広い分野で実践的な協力を進めてきており、4カ国の間では、地域に前向きな形で貢献していくことの重要性で一致している。(外務省 HP)



インドのナレンドラ・モディ首相(写真=Press Information Bureau, Government of India/GODL-India/Wikimedia Commons)

自由や民主主義という基本的価値観を共有した4カ国の協力体制のはずなのに、この首脳会合後に発表された共同声明に、ロシアを非難する内容は含まれませんでした。日米豪と、インドの立場が違うからです。

インドの本音は、中国に対して日米豪と連携して対抗し、実利を得ることです。日米豪の民主主義対権威主義という価値観の対立軸に対して、インドは地政学的な勢力均衡の原理を重んじているのです。

アメリカのバイデン大統領は、クアッドを、中国とロシアに対抗する準軍事同盟に転換したいと考えていました。そのもくろみは外れました。ウクライナ戦争に関して、インドが日米豪や EU 諸国と共同歩調を取らず、ロシアから原油を買い付けるのは、もっともなことです。

●戦争の第1の犠牲者は「真実」(2022年9月15日)

この映像の投稿者は「ホントのことは… 😬 言っちゃダメ ! 知っちゃダメ ! ……こんな世の中狂ってる!! 🤡」とコメントしている。ものすごい風刺画ですね。



BILD:ドイツの新聞社 / **CNN**:アメリカのニュースチャンネル / **NBC**:アメリカのニュース制作会社
mtv:アメリカのケーブル・チャンネル

●インドにとって、今の流行語は「多国間主義」(2022年9月14日)

モディ首相は、SCO 首脳会議への参加により、自身の政策の多国間主義を世界に示している。ウクライナに関する欧米の対ロシア圧力に屈しない。



※安齋注:SCO=Shanghai Cooperation Organization(上海協力機構)

●解放されたマリウポリの幼稚園(2022年9月15日)

解放されたマリウポリではウクライナの砲撃で破壊された幼稚園が復旧し、無事に開園しました。
<https://twitter.com/Tamama0306/status/1570064901460357123?s=20&t=y1TJ6g QcUpcHXo-ngVDFg>



●プーチン大統領への4つの質問(2018年6月4日)

※安齋注:これはウクライナ戦争とは関係ありませんが、オーストリアの ORF テレビのインタビューに答えるプーチンの答え方が面白いので、ご紹介します。5分22秒の映像です。録画前にプーチンが「まあ、私の話を最後までよく聞け」としてこく注文をつけている様子が面白いし、ORF テレビがその様子をカットしないで視聴者に伝えたのも面白い。

(この映像の投稿者は別件で1週間投稿禁止になっていたらしいです)。

<https://www.youtube.com/watch?v=IZ5cv0wAVZQ>

